

## 第 913 回 例 会

4年8月19日

## 本日のプログラム

- ・ソング 「夏の思い出」
- ・卓話 及川 千晴 会員 「自己紹介」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 4階 「平安の間」
- ・アフター例会 13:40～ 4階 「末広の間」

## 次回(8月26日)のプログラム

- ・ソング 「手に手つないで」
- ・卓話 樋上 久代 会員
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 4階 「平安の間」
- ・ロータリーXmas実行委員会 13:40～ 4階 「萩の間」

## 先週(8月5日)の例会報告

## ■会長の時間

今日は「AH事件」についてお話しさせていただきます。

「AH事件」とは、2005年一級建築士のAHさんという方が建物の構造計算書を偽造したという事件です。私はこの報道を聞いたとき、「AH」という苗字があることと「これで又業界に対する世間の目が厳しくなるなあ」と思いました。と言いますのも1993年ごろ建設業界の談話が大きく取り上げられ社会問題化していましたので「またか」という思いでした。

事件の概要は、物件名:GS北千住(分譲マンション)、デベロッパー:(株)F、設計者:(株)S建築研究所、構造設計担当:AH建築設計事務所、施工者:K建設(株)(S組)、民間検査機関:IH(株)。発端は施工者のS組担当者が、建築許可の下りにいた当該物件であるが鉄筋のあまりの少なさに不信感を抱き、別のAR設計に構造計算チェックを依頼、AR設計は計算書が改ざんされていることを発見し、民間検査機関IH(株)に報告するもIH(株)はすぐには表面化させなかった。しかし匿名で国交省に通報があり、国交相がIH(株)に立ち入り検査を実施するに至り明るみに出たという経緯でした。

構造計算書を改ざんしたのはAH設計ですが、構造計算自体がコンピューター化され計算内容はブラックボックス化しているとはいえ、長年に渡り改ざんを見逃し建築許可を発行してきた検査機関の審査の杜撰さにも責任があるのは明らかです。AH設計は1998年より改ざんを行ってきたと証言しており、7年間にわたり発見されなかったということになります。発覚した前年の2004年、AR設計は赤羽橋のワンルームマンションについても別の民間検査機関NEの担当者に改ざんがあることを進言しましたが、再審査されることなく建設されました。また他の物件の許可履歴を照合すると、1998年から2001年までの物件は行政機関で審査を行っていましたが、改ざんは発見されることなく建築は許可され建物は建てられています。そしてこれらの民間検査機関・役所には何のお咎めもありませんでした。当事者のIH(株)にすら検査業務に過失は無かったと裁判所は決定しています。

また、デベロッパー:(株)Fや施工者:K建設(株)も状況から察するに、改ざん教唆はあったと思われますが立証されず、この件では事実上無罪となっています。

私利私欲にまみれ目先の利益にとらわれ判断を間違えることへの自戒の念と共に、多大なる損失を発生させ、多くの人命を危険にさらし、社会的不安と建設業界に対する不信を招いた事件が、多くの関係者がいる中で核心の部分ではただ一人の責任とされた結論に個人的には納得できませんが、これが現在の裁判の実態かなと思われる事件でした。

【来客紹介】 0名

【出席報告】

4年8月5日(第912回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
40名	0名	27名	13名	67.5%

【幹事報告】

【メールBOXに配布】 1)ロータリーの友(8月号) 2)クラブ概況報告書・活動計画書

ロータリーXmasの日程変更により12月と2月のプログラムが一部変更になりました。概況報告書P54～P55をご確認ください。

【メール送信】 1)ガバナー月信8月号 ⇒ 8/2 配信 2)ロータリーの友8月号 推奨記事と関連記事のご紹介 ⇒ 8/5 配信

【回覧資料】 1)アフター例会(8/19 例会終了後)の出欠表

## ニコニコ箱(8月5日)

川上 大雄 =8月になると平和について考えますね。

久保田秀一 =今日はクラブフォーラムですね。小林さん、菊さん、宜しくお願い致します。

松山 三雄 =ちょっと嬉しいことがありました。昨日、茨木高原カントリー倶楽部にて8月度ゴルフ同好会、大屋さんが優勝されました。おめでとうございます。

三宅 一郎 =女子プロゴルファーの古江彩佳が米国で優勝しました。とても元気をもらいました。

森本 良嗣 =久し振りに赤タスキさせて頂きました。宜しくお願いします。

中井 周治 =晴れたり、雨が降ったり、変な天気ですね。

大橋 高志 =連日の大雨による被害、今日は滋賀でも被害が出ているようで心配です。

明日から夏の甲子園が開幕します。高校野球ファンとしてはとても楽しみです。

大屋 準一 =本日は楽しい事を記します。エンゼルスの大谷選手、23号・24号 ホームランですが、チームは敗戦です。全英女子オープンで渋野選手が6アンダーで首位発進しました。最後に昨日、ゴルフ同好会コンペで2連続優勝でした。

鈴木 正明 =毎日、暑い日が続きますが、元気に日々を過ごしましょう。

辻田 知史 =昨日はロータリーゴルフ同好会でした。茨木高原カントリー倶楽部を松山さんがエントリーして下さいました。山の上ということで、酷暑の中でも比較的快適なプレーができて最高でした。優勝は大屋さんでした。おめでとうございます。今回は一緒にプレーさせて頂きましたが、ニヤピン王の異名をもつ大屋さんだけあり、ショートホールに来るたびにワンピン以内に乘せるパーディチャンスの連続で圧倒されました。これからも健康に気をつけて末永くロータリークラブのニヤピン王に君臨し続けて下さいね！ 松山さんお世話になりました。

和氣 勝海 =先日、孫と温泉、海水浴に行きました。30年ぶりに海に入りました。海の水はしょっぱい！！

【SAA報告】

ニコニコ箱

本日計 12000円

今年度合計 5384403円

## クラブフォーラム(8月5日)

会員増強委員会 小林 知義 会員増強リーダー

我がクラブの長年の目標であったジャンプ40ですが、今年度の初め会員数40名を達成する事ができました。更に、今年度は純増2名を目標に努力したいと思っています。

同時に退会者を出さないために例会以外にイベントなどを開催して防止に努めたいと思います。また、前年度の新入会者が溶け込めるように声掛けもよろしくお願ひしたいと思います。親睦委員会の皆さん、イベントの計画・実施、よろしくお願ひします。

我がクラブが誕生させたOUCローターアクトクラブの存続も危機的状況にあり、会員増強の必要性も差し迫っています。会員の皆さんのご協力、よろしくお願ひします。

## クラブフォーラム(8月5日)

米山奨学委員会 菊 泰仁 委員

●ロータリー米山記念奨学会とは : ロータリー米山奨学会は、勉学・研究のために日本に在留している私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支援する公益財団法人です。

●事業のはじまり :

「日本のロータリーの父」と呼ばれた故米山梅吉氏(1868~1946)にちなんで「米山基金」を1952年に東京ロータリークラブが提唱し、2年後の1954年にタイから初めて奨学生を受け入れたのが事業の始まり。以降は、海外からの招へいではなく、在日留学生への支援に方針を切り替え、東京RCの単独事業から全国の地区に拡大・発展しました。日本独自のプログラムですが、国際ロータリーから国内の多地区合同活動と認められ、1967年に財団法人設立、2012年に公益財団法人に移行しました。

●シンボルマーク :

重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」。外国人留学生の支援・交流を通じて国を超えた信頼関係を築き、世界平和を願う「心」を育てるという、事業創設の願ひが込められています。手はそうした「心」を生み出すと同時に、当事者がロータリアンの手で支えられていることを示しています。

●民間最大の奨学事業 : 年間の奨学生採用数は約900人、事業費は約14億4700万円(2020-21年度決算)と国内では民間最大の国際奨学事業であり、奨学生累計22,875人(2022年7月)、その出身国は世界129の国と地域に及びます。

●世話クラブ : 1人の奨学生にたいして1つのクラブが「世話クラブ」となります。

米山奨学生は世話クラブの例会に月に1回以上出席し、会員と積極的に交流して国際交流・相互理解を深めるとともに「ロータリーの奉仕のこころ」を学びます。その際に世話クラブは奨学金を受け渡します。

大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mai: [ucrc@osaka-ucrc.org](mailto:ucrc@osaka-ucrc.org) 創立: 2001年3月27日

事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459

会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか